

第9次森町総合計画策定にかかる  
アンケート調査結果報告書

【概要版】

平成28年1月



# <目次>

I 調査概要.....	1
II 調査結果.....	2
(1) 回答者の属性.....	2
(2) 調査結果.....	3
1 住んでいる地域や生活について.....	3
2 平等の社会づくりについて.....	6
3 まちづくりに対する評価や期待について.....	12
4 今後の町政の進め方について.....	14
5 まちの将来イメージについて.....	16

# I

## 調査概要

### ■調査の目的

本調査は、第9次森町総合計画の策定にあたり、広く町民の皆様のご意見をお伺いし、計画事項の検討の一助とすることを目的としています。

### ■調査対象

森町に在住の15歳以上の方 2,000人（無作為抽出）

### ■調査方法

郵送による配布・回収

### ■調査期間

平成27年11月2日配布、11月30日を返信期限として回収

### ■回収状況

有効回収数 974票 有効回収率 48.7%

### ■調査項目

- 1 住んでいる地域や生活について
- 2 平等の社会づくりについて
- 3 まちづくりに対する評価や期待について
- 4 今後の町政の進め方について
- 5 まちの将来イメージについて

### ■調査結果の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがあります。
- 基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがあります。
- 1人の回答者が複数回答する設問では「MA」と表示しています。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがあります。

# II

# 調査結果

## (1) 回答者の属性

### 【問1】あなたご自身のことについて

#### ■【Q1-1】性別 <SA>

	(2)	Q1-1-1	Q1-1-2	Q1-1-3
	全体	男性	女性	無回答
件数	974	452	495	27
%	100.0	46.4	50.8	2.8

#### ■【Q1-2】年齢 <SA>

	(8)	Q1-2-1	Q1-2-2	Q1-2-3	Q1-2-4	Q1-2-5	Q1-2-6	Q1-2-7	Q1-2-8	Q1-2-9
	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	無回答
件数	974	33	61	82	126	155	222	163	124	8
%	100.0	3.4	6.3	8.4	12.9	15.9	22.8	16.7	12.7	0.8

#### ■【Q1-3】お住まいの地区 <SA>

	(6)	Q1-3-1	Q1-3-2	Q1-3-3	Q1-3-4	Q1-3-5	Q1-3-6	Q1-3-7
	全体	三倉地区	天方地区	森地区	一宮地区	園田地区	飯田地区	無回答
件数	974	53	77	352	96	188	201	7
%	100.0	5.4	7.9	36.1	9.9	19.3	20.6	0.7

#### ■【Q1-4】居住年数 <SA>

	(5)	Q1-4-1	Q1-4-2	Q1-4-3	Q1-4-4	Q1-4-5	Q1-4-6
	全体	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	無回答
件数	974	59	41	121	171	568	14
%	100.0	6.1	4.2	12.4	17.6	58.3	1.4

#### ■【Q1-5】職業 <SA>

	(11)	Q1-5-1	Q1-5-2	Q1-5-3	Q1-5-4	Q1-5-5	Q1-5-6	Q1-5-7	Q1-5-8	Q1-5-9	Q1-5-10	Q1-5-11	Q1-5-12
	全体	農林水産業	会社員・会社役員	公務員・団体職員	自営業(商店・工場・家族)	専門職(医師・弁護士・税)	自由業(作家・芸術家)	パート・アルバイト	家事(主婦・主夫)	学生	無職	その他	無回答
件数	974	60	232	40	78	12	4	166	128	34	194	13	13
%	100.0	6.2	23.8	4.1	8.0	1.2	0.4	17.0	13.1	3.5	19.9	1.3	1.3

#### ■【Q1-6】通勤・通学先 <SA>

	(4)	Q1-6-1	Q1-6-2	Q1-6-3	Q1-6-4	Q1-6-5
	全体	森町内	森町外の静岡県内市町	静岡県外	自宅(自営業等)	無回答
件数	974	205	321	7	129	312
%	100.0	21.0	33.0	0.7	13.2	32.0

#### ■【Q1-7】家族構成 <SA>

	(6)	Q1-7-1	Q1-7-2	Q1-7-3	Q1-7-4	Q1-7-5	Q1-7-6	Q1-7-7
	全体	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	親と同居(二世代)	子と同居(二世代)	親と子同居(三世代)	その他	無回答
件数	974	44	174	156	310	226	48	16
%	100.0	4.5	17.9	16.0	31.8	23.2	4.9	1.6

#### ■【Q1-8-1】住まいの住宅(所有形態) <SA>

	(4)	Q1-8-1-1	Q1-8-1-2	Q1-8-1-3	Q1-8-1-4	Q1-8-1-5
	全体	持ち家	借家	家族の持ち家(親の家等)	その他	無回答
件数	974	762	44	149	8	11
%	100.0	78.2	4.5	15.3	0.8	1.1

#### ■【Q1-8-2】住まいの住宅(住宅の種類) <SA>

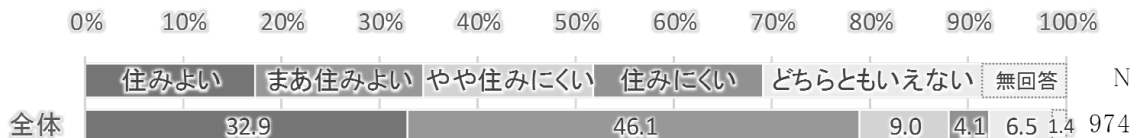
	(3)	Q1-8-2-1	Q1-8-2-2	Q1-8-2-3	Q1-8-2-4
	全体	戸建て住宅	集合住宅	その他	無回答
件数	974	873	34	5	62
%	100.0	89.6	3.5	0.5	6.4

## (2) 調査結果

### 1 住んでいる地域や生活について

#### 【問 2】 森町の住み心地はいかがですか <SA>

- 「住みよい」32.9%、「まあ住みよい」46.1%で、あわせて79.0%が住みよいと回答しています。一方、「住みにくい」4.1%、「やや住みにくい」9.0%で、あわせて13.1%が住みにくいと回答しています。



#### 【問 3】 今後も森町に住み続けたいと思いますか <SA>

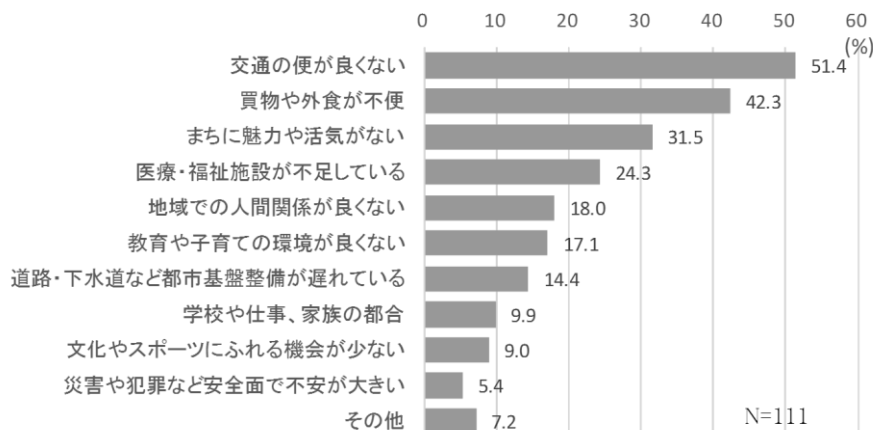
- 「住み続けたい」が70.6%、「町外に移りたい」が11.4%、「わからない」が16.1%となっています。



#### 《問 3で「町外に移りたい」と回答した方のみ》

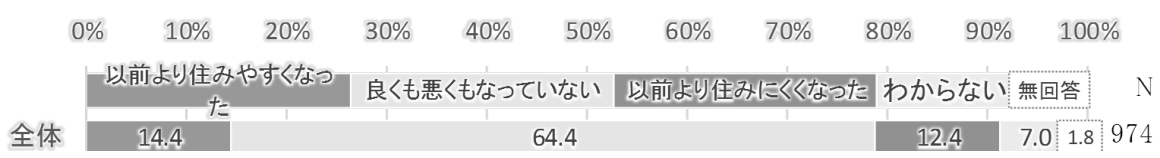
#### 【問 3-1】 町外に移りたい理由は何ですか <MA>

- 町外に移りたい理由としては、「交通の便が良くない」51.4%が最も多く、次いで「買い物や外食が不便」42.3%など、生活の利便性に関する理由が多くなっています。



**【問 4】ここ数年の間に、お住まいの周辺の生活環境は、全般的にどのよう  
なったと感じますか <SA>**

- 「以前より住みやすくなった」が 14.4%、「良くも悪くもなっていない」が 64.4%、「以前より住みにくくなった」が 12.4%となっています。



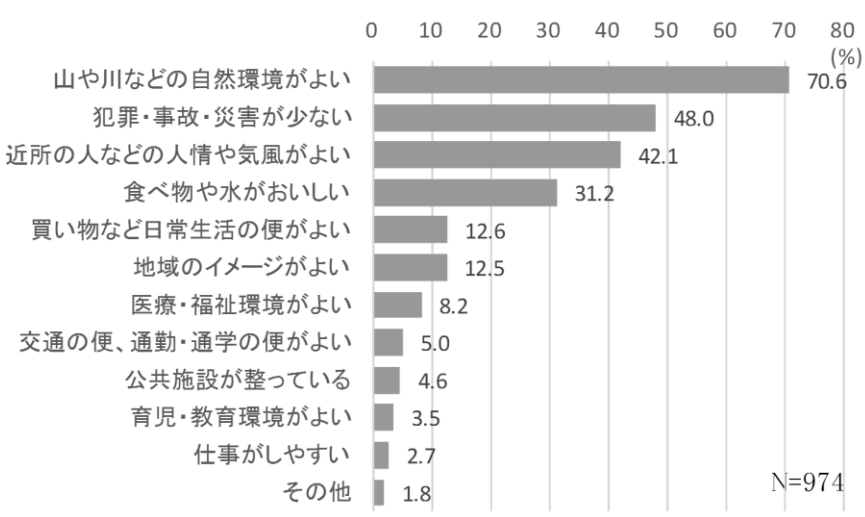
**【問 5】あなたは、森町に「自分のまちとしての愛着」がありますか <SA>**

- 森町に“自分のまちとしての愛着”が「ある」53.4%、「少しある」25.9%で、あわせて 79.3%が、愛着があると回答しています。一方、「ない」4.0%、「あまりない」8.6%で、あわせて 12.6%が、愛着がないと回答しています。



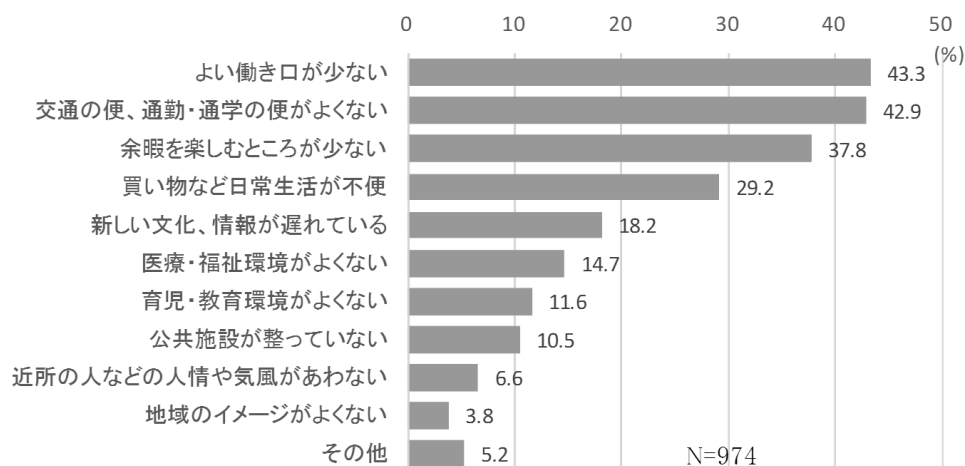
**【問 6】森町のよいところはどんなところだと思いますか <MA>**

- 「山や川などの自然環境がよい」70.6%が最も多く、次いで、「犯罪・事故・災害が少ない」48.0%、「近所の人などの人情や気風がよい」42.1%が多くなっています。



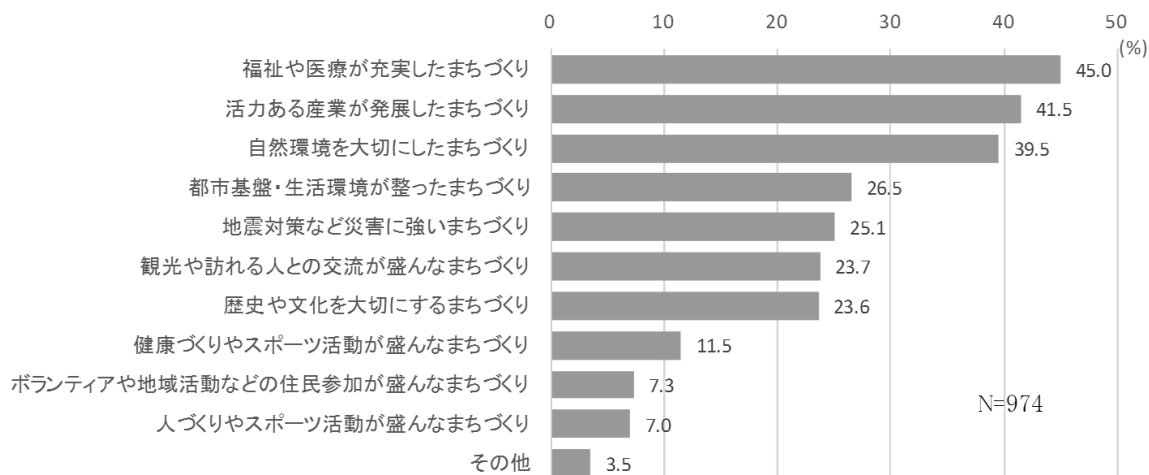
## 【問 7】 森町の課題はどんなところだと思いますか <MA>

- 「よい働き口が少ない」43.3%が最も多く、次いで、「交通の便、通勤・通学の便がよくない」42.9%「余暇を楽しむところが少ない」37.8%が多くなっています。



## 【問 8】 森町は今後どのようなまちづくりに力を入れていくべきだと思いますか <MA>

- 「福祉や医療が充実したまちづくり」45.0%が最も多く、次いで、「活力ある産業が発展したまちづくり」41.5%、「自然環境を大切にしたいまちづくり」39.5%が多くなっています。

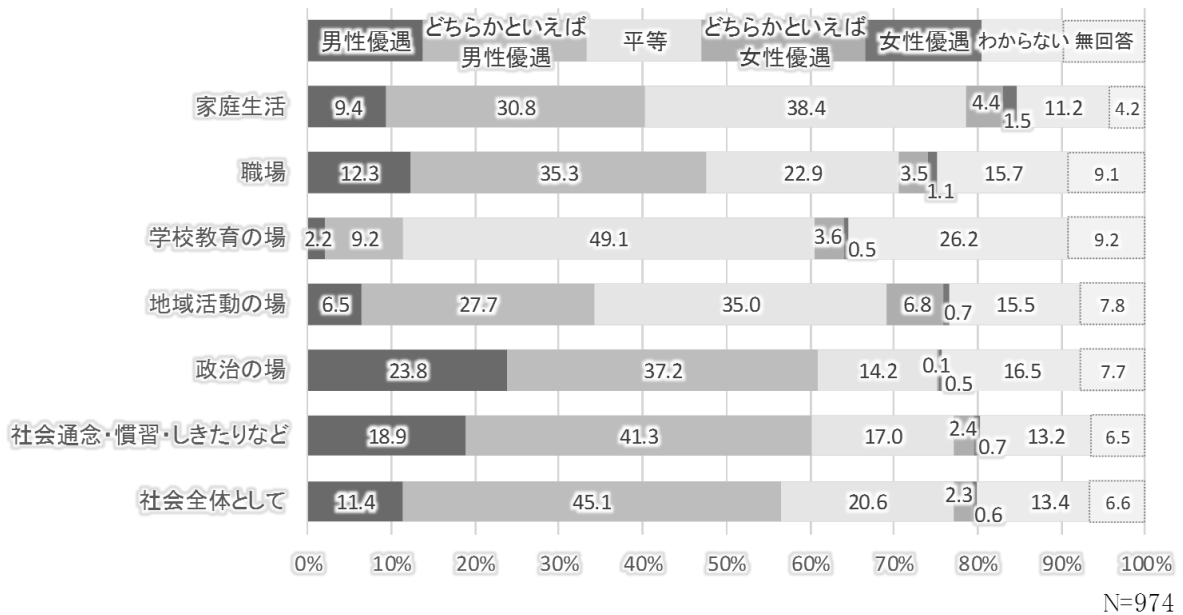




## 2 平等の社会づくりについて

### 【問 9】 男女の地位は平等になっていると思いますか <SA>

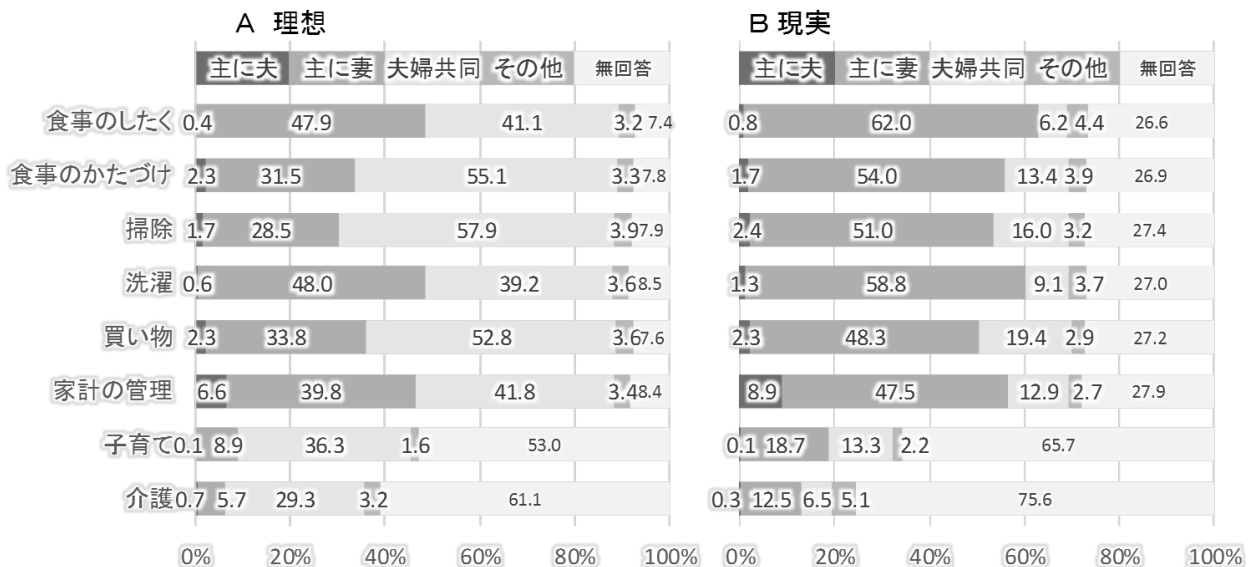
- 『学校教育の場』を除いて、全般的に「男性優遇」「どちらかといえば男性優遇」と思っている人が多くなっています。



### 【問 10】 日常的な家庭の仕事の分担について伺います

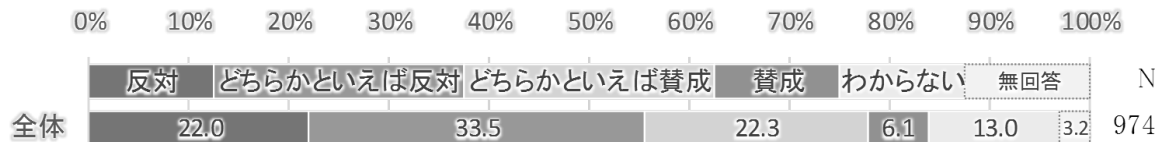
「A理想」は全員の方がお答えください。「B現実」は配偶者のいる方のみお答えください。

- 理想では、『食事のしたく』や『洗濯』は「主に妻」、そのほかの家事は「夫婦共同」が多くなっていますが、現実では、家事全般的に「主に妻」が多くなっています。



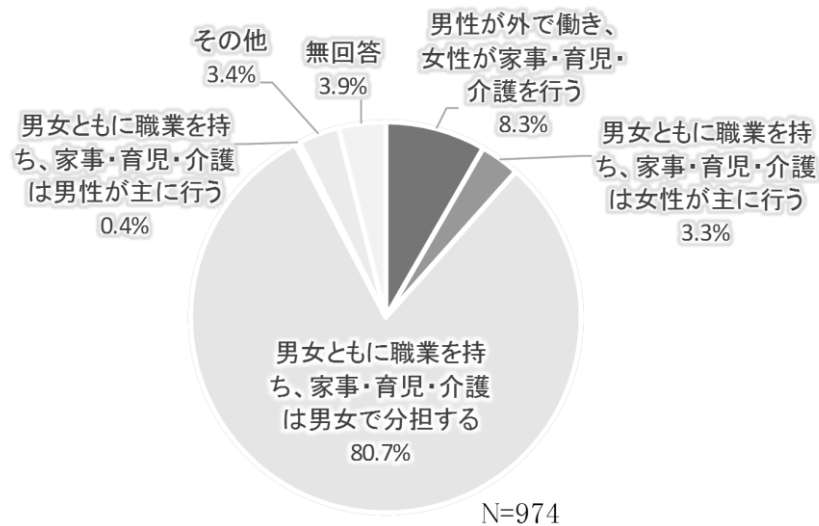
**【問 11】「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」というような男女の役割を固定的に考えることについて、どのように思いますか <SA>**

- 「反対」22.0%、「どちらかといえば反対」33.5%で、あわせて55.5%が、男女の役割を固定的に考えることについて反対と回答しています。一方、「賛成」6.1%、「どちらかといえば賛成」22.3%で、あわせて28.4%が賛成と回答しています。



**【問 12】仕事、家事、育児、介護について男女がどのようにかかわるべきであると思いますか <SA>**

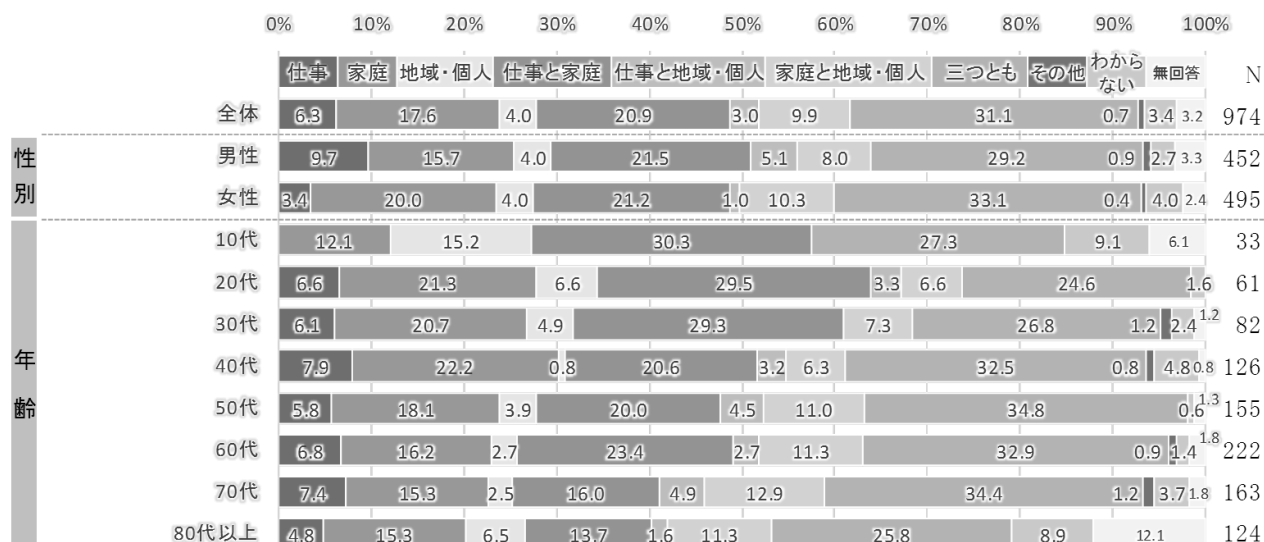
- 「男女ともに職業を持ち、家事・育児・介護は男女で分担する」が80.7%となっています。



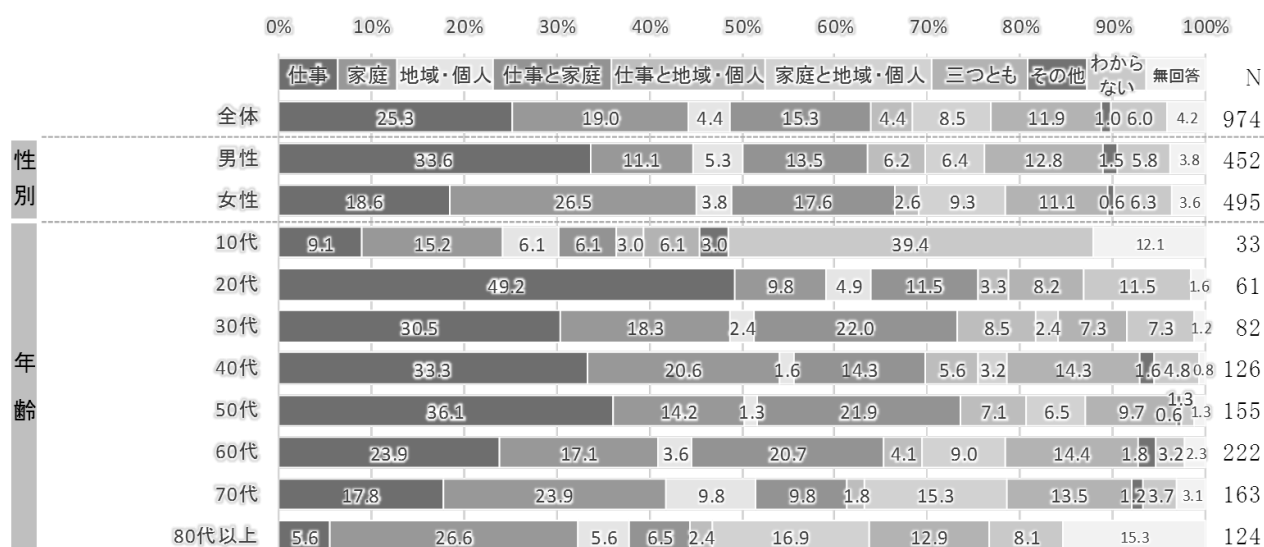
【問 13】あなたは、生活の中で仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか<SA>

- 希望としては「仕事と家庭生活と地域・個人の生活の三つとも大切にしたい」が最も多くなっていますが、現実としては「仕事」が最も多くなっています。
- 性別にみると、現実として、男性では「仕事」、女性では「家庭」が多くなっています。

(A 希望として)

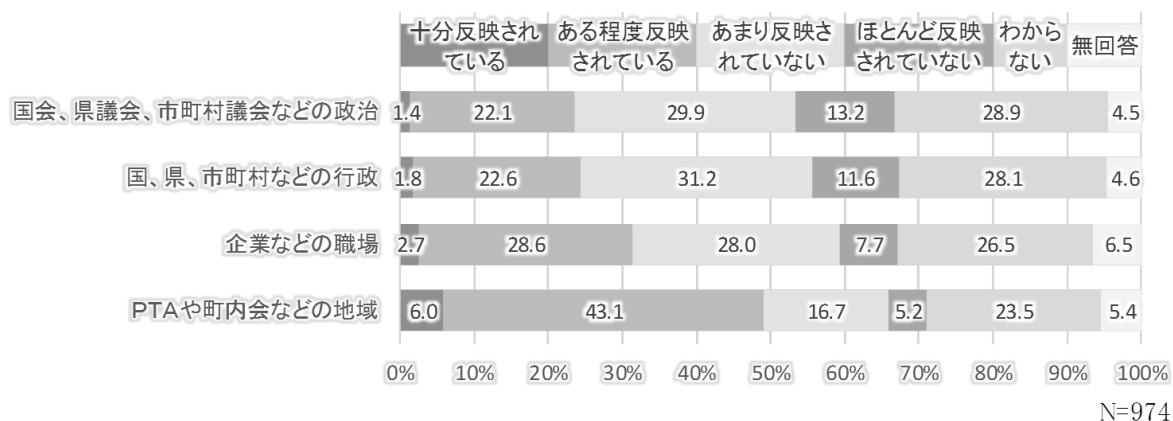


(B 現実として)



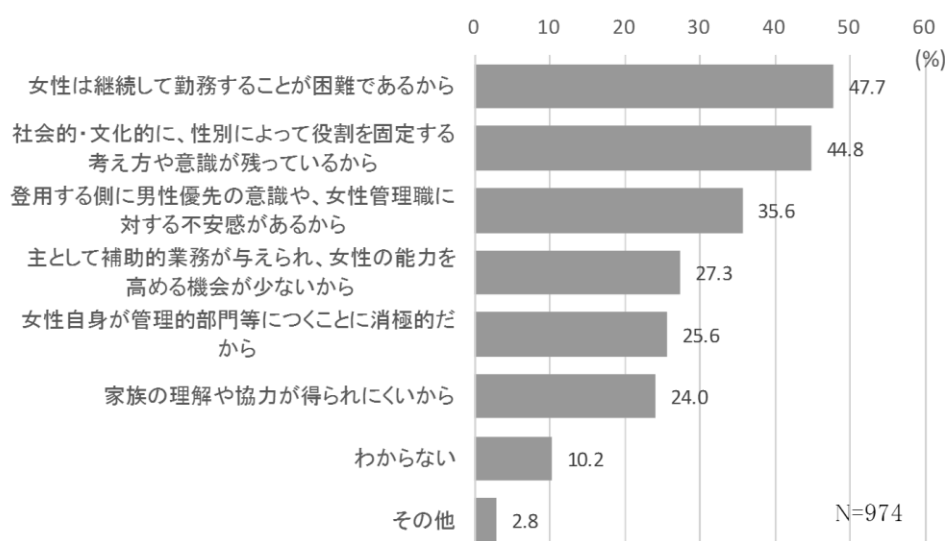
**【問 14】あなたは、次のような分野で女性の意見がどの程度反映されていると思いますか<SA>**

- 『PTAや町内会などの地域』では、「ある程度反映されている」が43.1%と多くなっていますが、『政治』や『行政』に関しては「あまり反映されていない」と思っている人の方が多くなっています。



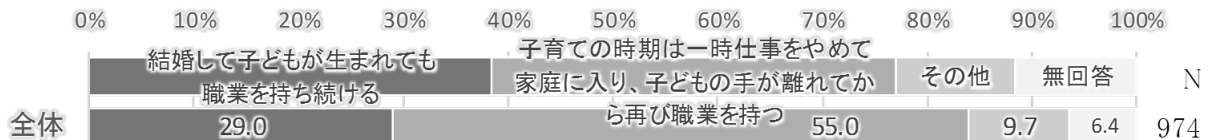
**【問 15】現状では、意思決定を行う管理的部門や指導的地位への女性登用が未だ少ない状況にあります。あなたは、その理由としてどのようなものがあると考えますか。 <MA>**

- 「女性は継続して勤務することが困難であるから」47.7%が最も多く、次いで、「社会的・文化的に、性別によって役割を固定する考え方や意識が残っているから」44.8%、「登用する側に男性優先の意識や、女性管理職に対する不安感があるから」35.6%が多くなっています。



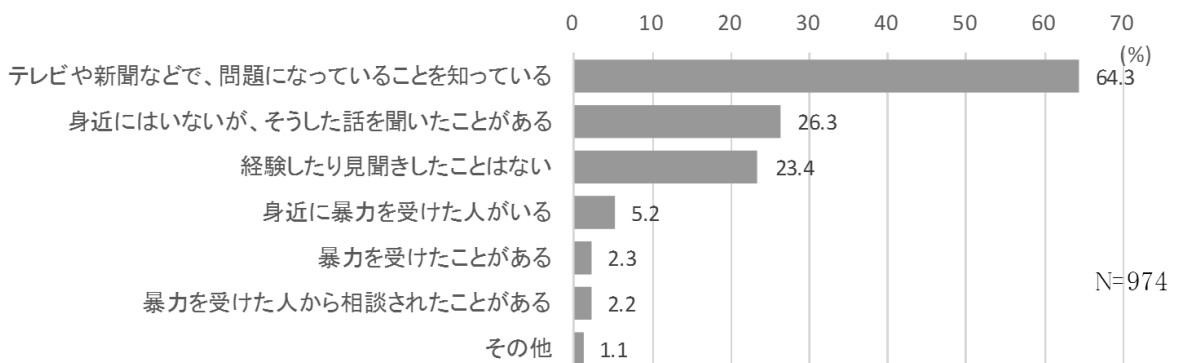
**【問 16】あなたは、女性にとって職業との関わり合い方で最も望ましいのほどのようなものだと思いますか <SA>**

- 「子育ての時期は一時仕事をやめて家庭に入り、子どもの手が離れてから再び職業を持つ」55.0%が最も多く、「結婚して子どもが生まれても職業を持ち続ける」が29.0%となっています。



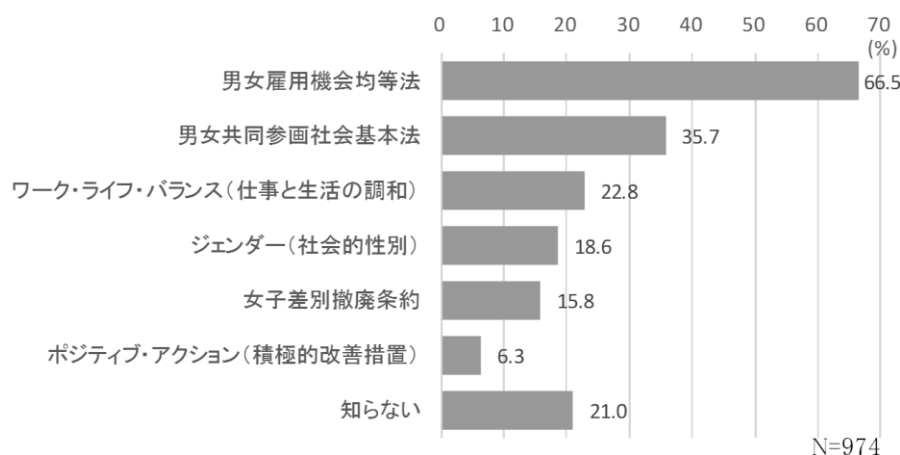
**【問 17】過去1年間に、「夫や妻・恋人など親しい間柄にある男女間の暴力」（ドメスティック・バイオレンス）について、経験したり見聞きしたことがありますか。 <MA>**

- 「テレビや新聞などで、問題になっていることを知っている」は64.3%となっています。
- 経験したり見聞きしたことがある人は少ないものの「身近に暴力を受けた人がいる」5.2%、「暴力を受けたことがある」2.3%、「暴力を受けた人から相談されたことがある」2.2%となっています。



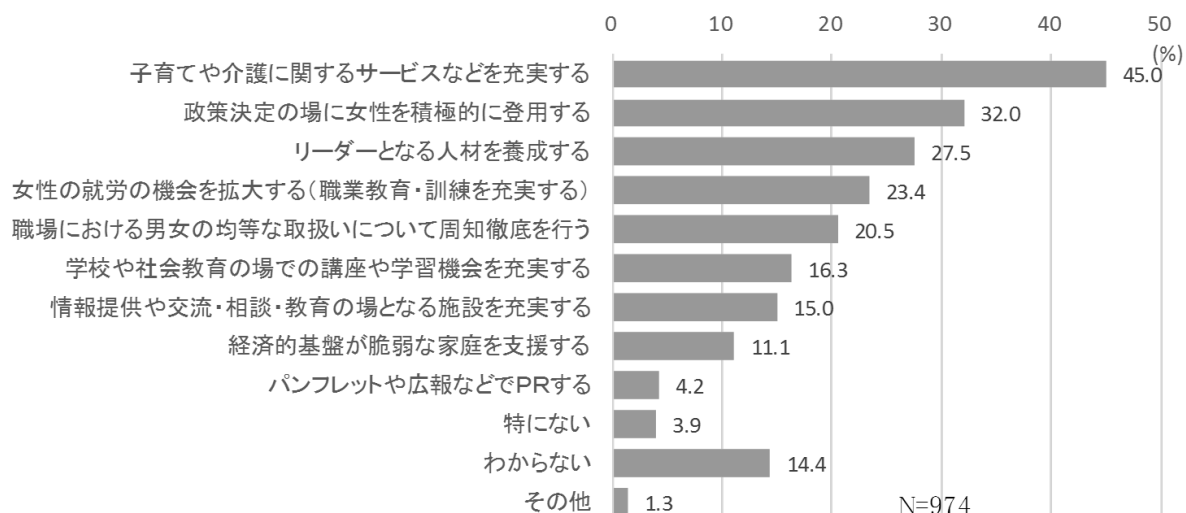
**【問 18】あなたは、次にあげる男女共同参画社会に関する言葉を聞いたことがありますか <MA>**

- 「男女雇用機会均等法」は 66.5% となっていますが、そのほかは半数以下で、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」は 22.8%、「ジェンダー（社会的性別）」18.6% となっています。



**【問 19】男女共同参画社会を実現するために、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか <MA>**

- 「子育てや介護に関するサービスなどを充実する」45.0%が最も多く、次いで、「政策決定の場に女性を積極的に登用する」32.0%、「リーダーとなる人材を養成する」27.5%が多くなっています。



### 3 まちづくりに対する評価や期待について

【問 20】現在の評価「満足度」と、今後への期待「重要度」のそれぞれについて、あなたの今のお気持ちに最も近い番号をそれぞれ1つ選んでください。※「わからない」場合は「ふつう」に○をつけてください。

満足度・重要度について、5段階で評価をしてもらいました。評価結果について、以下のように点数化し施策毎に平均点を算出しました。

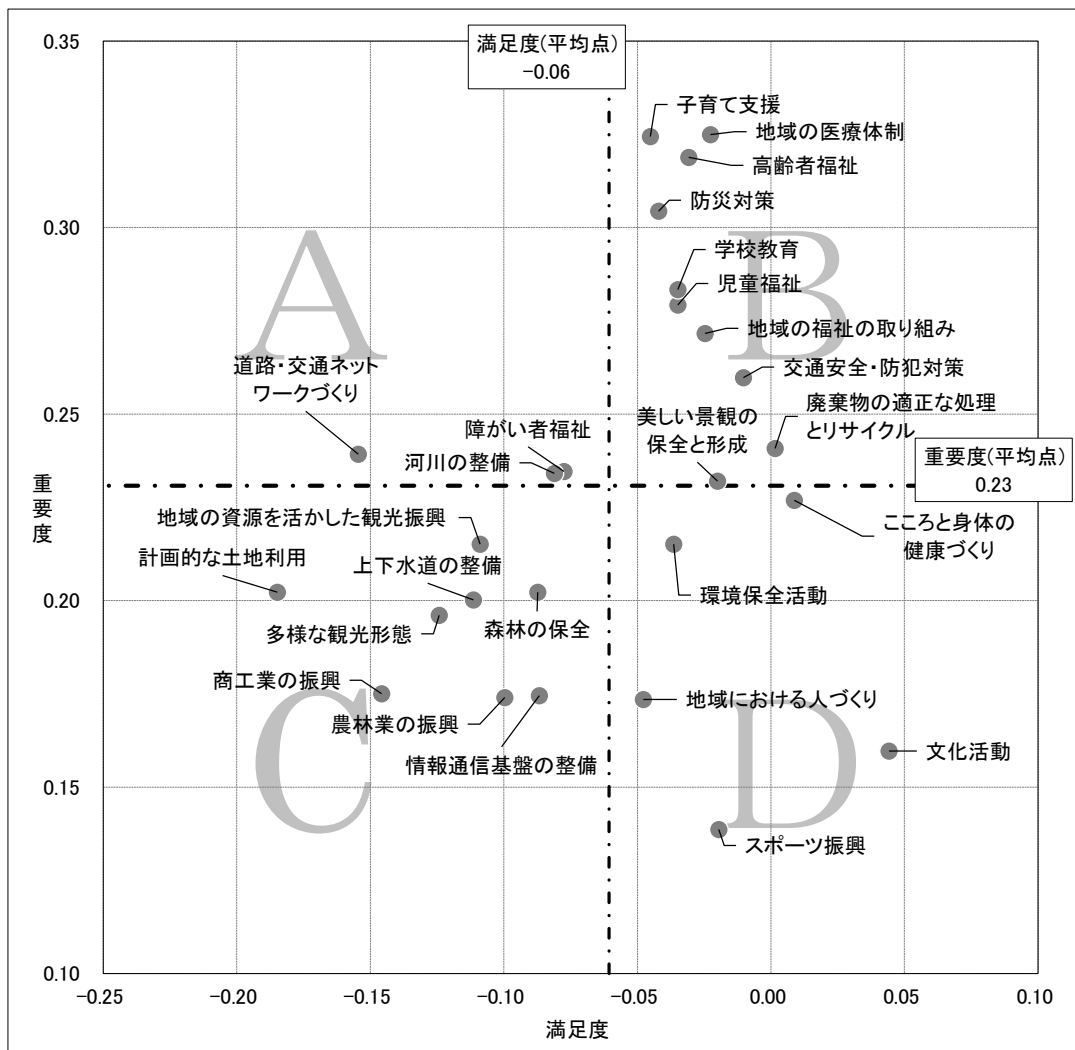
現在の評価（満足度）	満足=+1.0	やや満足=+0.5	やや不満=-0.5	不満=-1.0	ふつう・無回答=0
今後への期待（重要度）	高い=+1.0	やや高い=+0.5	やや低い=-0.5	低い=-1.0	ふつう・無回答=0

満足度をX軸、重要度をY軸とするグラフ上に各取り組み点数を散布図で表すと、次ページの図となります。平均点で区分される4つの領域のどこに位置しているかで各取り組みを評価します。各領域の定義は次のとおりです。

表 満足度と重要度による取り組み評価の考え方

重要度	<b>A 重点課題</b> 満足度：平均点未満 重要度：平均点以上	重要性の認識は高いが、取り組みに対する満足度は低く、他区分の取り組みに優先した重点的な対応が望まれます。	<b>B 継続推進</b> 満足度：平均点以上 重要度：平均点以上	重要性の認識も取り組みに対する満足度もともに高く、現在の水準を下げないように継続的な対応が望まれます。
	<b>C 検討課題</b> 満足度：平均点未満 重要度：平均点未満	重要性の認識が低く、取り組みに対する満足度も低く、必要性の検証や取り組み内容の見直しなどを検討し適切な対応が望まれます。	<b>D 成果検証</b> 満足度：平均点以上 重要度：平均点未満	重要性の認識は低いですが、取り組みに対する満足度は高く、一定成果を遂げているため、必要性を検証し適切な対応が望まれます。
	満足度			

- 重要度の高い施策としては、「地域の医療体制」、「子育て支援」、「高齢者福祉」、「防災対策」、「学校教育」、「児童福祉」など、子どもや安全・安心に関する施策があげられています。
- 満足度の低い施策としては、「計画的な土地利用」、「道路・交通ネットワークづくり」、「商工業の振興」、「多様な観光形態」など、基盤整備や産業振興に関する施策があげられています。
- Aの領域では、「道路・交通ネットワークづくり」、「河川の整備」、「障がい者福祉」の3施策があげられています。

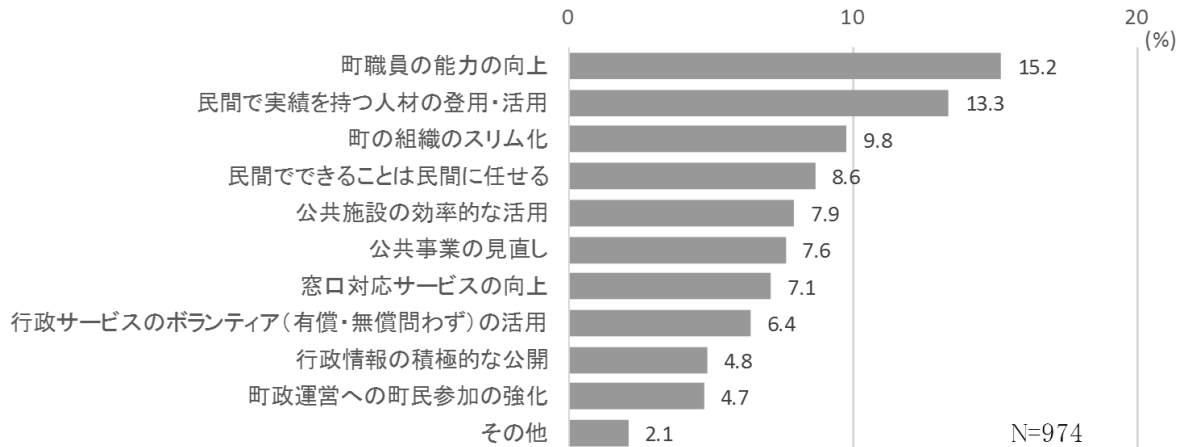




## 4 今後の町政の進め方について

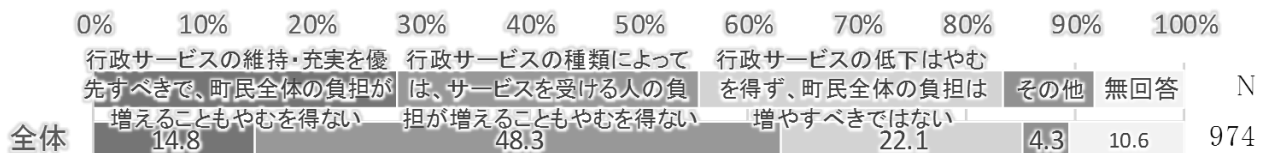
### 【問 21】 森町の町政運営について今後どのようなことを望みますか <SA>

- 「町職員の能力の向上」15.2%が最も多く、次いで、「民間で実績を持つ人材の登用・活用」13.3%、「町の組織のスリム化」9.8%などが多くなっています。



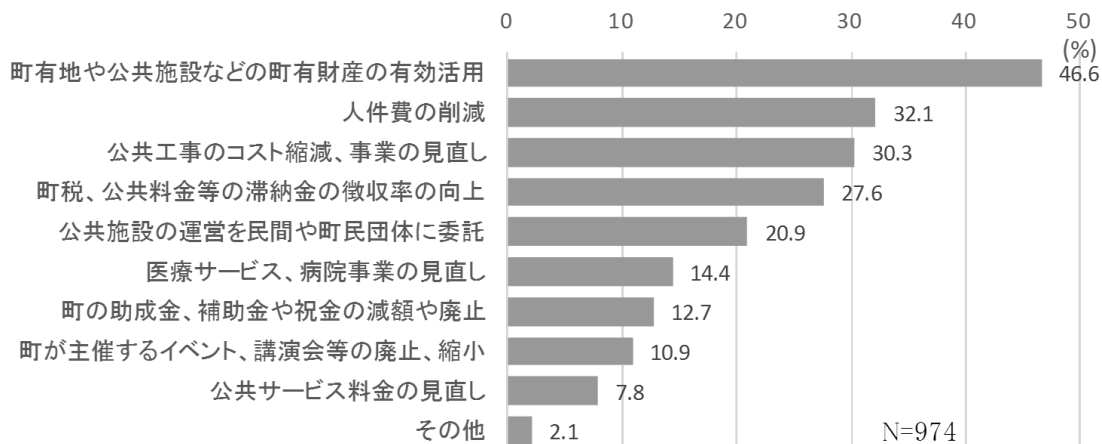
### 【問 22】 厳しい財政状況を踏まえ、サービスと負担のバランスを見直さざるを得ない場合の対処として、あなたのお考えに近いものを選んでください <SA>

- 「行政サービスの維持・充実を優先すべきで、町民全体の負担が増えることもやむを得ない」が14.8%、「行政サービスの種類によっては、サービスを受ける人の負担が増えることもやむを得ない」が48.3%、「行政サービスの低下はやむを得ず、町民全体の負担は増やすべきではない」が22.1%となっています。



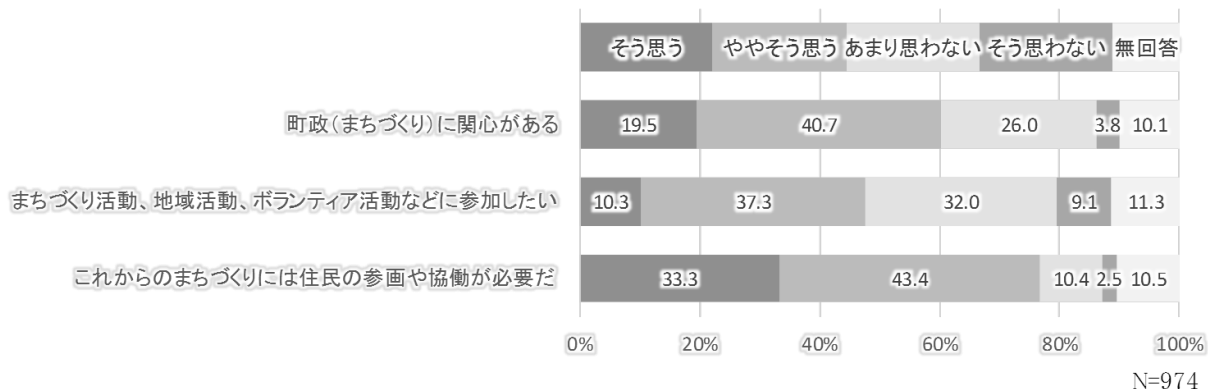
**【問 23】 財政を健全化させていくために、今後さらに重点をおくべき項目は何だと思えますか <MA>**

- 「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」46.6%が最も多く、次いで、「人件費の削減」32.1%、「公共工事のコスト縮減、事業の見直し」30.3%などが多くなっています。



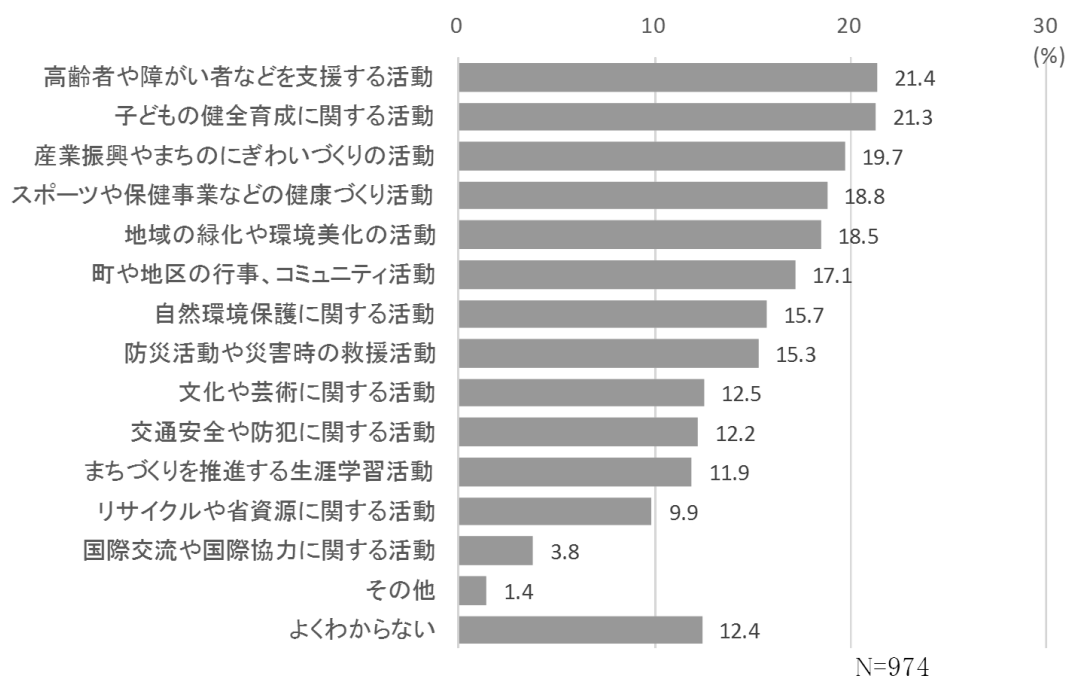
**【問 24】 町政や住民参画・協働について、どのようにお考えですか <SA>**

- 町政（まちづくり）に関心がある、「そう思う」19.5%、「ややそう思う」40.7%で、あわせて60.2%となっています。
- まちづくり活動、地域活動、ボランティア活動などに参加したい、「そう思う」10.3%、「ややそう思う」37.3%で、あわせて47.5%となっています。
- これからのまちづくりには住民の参画や協働が必要だ、「そう思う」33.3%、「ややそう思う」43.4%で、あわせて76.7%となっています。



**【問 25】住民と行政による協働のまちづくりを進めていく中で、どのような活動なら参加したいと思いますか <MA>**

- 「高齢者や障がい者などを支援する活動」21.4%が最も多く、次いで、「子どもの健全育成に関する活動」21.3%、「産業振興やまちなぎわいづくりの活動」19.7%などが多くなっています。



## 5 まちの将来イメージについて

**【問 26】これからの森町が目指すべきと思うまちのイメージや、森町にふさわしいと思う町のキャッチフレーズを自由に記入してください**

- 「住みたいまち」「若者」「子ども・子育て」「自然」「安心・安全」「健康」「歴史・文化」「活気・活力」などのキーワードが多くあげられました。

### (3) 自由意見

「森町のまちづくり」について、334 名の方から 572 件の意見をいただきました。

#### ■施策別意見数

1	子育て支援	19 件
2	児童福祉	0 件
3	こころと身体健康づくり	8 件
4	地域の医療体制	6 件
5	地域の福祉の取り組み	8 件
6	高齢者福祉	22 件
7	障がい者福祉	4 件
8	学校教育	13 件
9	地域における人づくり	19 件
10	文化活動	5 件
11	スポーツ振興	7 件
12	計画的な土地利用	39 件
13	道路・交通ネットワークづくり	50 件
14	上下水道の整備	3 件
15	情報通信基盤の整備	0 件
16	防災対策	9 件
17	交通安全・防犯対策	7 件
18	農林業の振興	17 件
19	商工業の振興	54 件
20	地域の資源を活かした観光振興	34 件
21	多様な観光形態	22 件
22	美しい景観の保全と形成	19 件
23	森林の保全	6 件
24	河川の整備	14 件
25	廃棄物の適正な処理とリサイクル	3 件
26	環境保全活動	4 件
27	まちづくり全般	180 件
27-1	人口減少、少子高齢化	(22 件)
27-2	しごと	(11 件)
27-3	移住・定住	(43 件)
27-4	その他まちづくり全般	(33 件)
27-5	町政運営	(44 件)
27-6	住民参画・協働のまちづくり	(27 件)
計		572 件